

会場
2階ホール

時間割

入退室は自由です

プレリュード ——— 9:20-9:30 滝澤 博胤 工学研究科長からのメッセージ ———

1限目 9:30-10:45

電気情報理工学科

言葉がわかる人工知能をつくるには～言葉の不思議と自然言語処理の最前線～

東北大学大学院 情報科学研究科 システム情報科学専攻

教授 乾 健太郎

2限目 10:55-12:10

建築・社会環境工学科

木造建築が未来の街を変える～都市に”森”を創る～

東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻

教授 前田 匡樹

お昼 ※昼食はご持参ください

3限目 12:45-14:00

機械知能・航空工学科

月惑星探査ロボットの研究開発

東北大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻

教授 吉田 和哉

4限目 14:10-15:25

材料科学総合学科

燃料電池・全固体電池って何がすごいのか?～未来を変える材料科学の世界～

東北大学大学院 工学研究科 知能デバイス材料学専攻

教授 高村 仁

5限目 15:35-16:50

化学・バイオ工学科

創薬エンジニアリング: バイオ×化学×工学でがんに立ち向かう

東北大学大学院 工学研究科 バイオ工学専攻

教授 梅津 光央



上記の講義は入退室が自由にできます。また、同じフロア内に昼食を食べるスペースがあります。

同じフロア内にて資料配布・相談会を開催してます

平成30年度前期入試の解答集(協力:河合塾)を配布!!

資料配布・相談コーナーでは、本学入試センターの特任教授、工学部の教職員、学生支援の職員による個別相談会を開催します。入試の制度、学部・学科の特徴に加え、学寮やユニバーシティハウス、近隣の不動産事情、海外への留学情報を提供し、高校生・保護者の皆様の不安や疑問に対し丁寧に説明します。工学部学生も、大学の雰囲気、良い所、悪い所を伝えるべく、会場で諸君らの来場をお待ちしております。お気軽にご利用下さい。



電気情報理工学科

言葉がわかる人工知能をつくるには～言葉の不思議と自然言語処理の最前線～

東北大学大学院 情報科学研究科 システム情報科学専攻 | 教授 乾 健太郎 Kentaro Inui

人は言葉を使って意志を伝え、考えをまとめ、知識を記録します。ロボットの頭脳となるコンピュータ(すなわち、人工知能)もいつか同じように言葉が使えるようになるでしょうか? 言葉の理解は人工知能の研究の中でも最も難しい課題の一つです。何が難しいのか? 解決の糸口は? 言葉を易々と使いこなす人の知能の不思議に触れながら、言葉がわかるコンピュータをつくる人工知能研究の最前線を紹介します。



建築・社会環境工学科

木造建築が未来の街を変える～都市に”森”を創る～

東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻 | 教授 前田 匡樹 Masaki Maeda

木は再生可能でCO₂を吸収する地球環境にやさしい材料です。木造建築は、質感、断熱、調湿など人にもやさしい特徴があります。いま、木材を使って、高層ビルのような都市にある大きな建築を創る取り組みが始まっています。木造建築に囲まれた、まるで”森”のような未来の街を創るための技術や展望を紹介します。



機械知能・航空工学科

月惑星探査ロボットの研究開発

東北大学大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 | 教授 吉田 和哉 Kazuya Yoshida

私たちは、月や惑星を探査するロボットの研究をしています。小惑星探査機「はやぶさ」の開発に挑み、研究室で独自に小型の人工衛星を開発した成果をベースにして、月面探査を行うロボットを開発しています。講義の中では、探査ロボットに求められる技術や、新しいアイデアについて紹介します。



材料科学総合学科

燃料電池・全固体電池って何がすごいのか?～未来を変える材料科学の世界～

東北大学大学院 工学研究科 知能デバイス材料学専攻 | 教授 高村 仁 Hitoshi Takamura

次世代エネルギー源として注目されている燃料電池は水素を電気エネルギーに直接変換できるデバイスであり、その実用化のためには燃料電池自身の開発のみならず、水素の製造や貯蔵技術において新材料の開発が必要とされています。さらに、携帯電話から電気自動車まで広く応用されているリチウム二次電池も「全固体化」するために盛んに材料研究が行なわれています。すなわち、次世代のクリーンエネルギーをより身近にするためには新材料の開発がキーポイントなのです。これら次世代電池やクリーンエネルギーに関わる先端材料について易しく解説します。



化学・バイオ工学科

創薬エンジニアリング: バイオ×化学×工学でがんに立ち向かう

東北大学大学院 工学研究科 バイオ工学専攻 | 教授 梅津 光央 Mitsuo Umetsu

生物は、膨大な種類と数の化学分子が集まって様々な化学反応を調節して動いている究極の機械です。化学の武器「分子づくり」と工学のチカラ「プロセッシング」を掛け合わせることで生まれる新しい「創薬」の世界をお見せします。

